

AFP-101

この度は、弊社製品をお買い上げ頂きましてありがとうございました。
当製品は組立式になっておりますので、説明書をよく読み内容を理解してから組み立ててください。

● ご用意ください。

手袋 → スチール製部品がございますので 組み立ての際、必ず着用してください。

プラスドライバー → ボルト(1)(2)(3)の仮締めと締め付けに使用してください。

● 組立部品のチェックをしてください。

品質の管理には細心の注意をはらっておりますが、不都合な点や不足の部品等につきましては、お買い求めの販売店又は下記のサポートセンターまでご連絡をお願い申し上げます。
その他、製品に関するお問い合わせやご要望などございましたら、お気軽にご相談ください。

● 使用上のお願い

- ▲ 当製品の上に腰を掛けたり、乗らないでください。
- ▲ テーブルや棚板の上に、耐荷重以上の物を載せないでください。
- ▲ パソコン等を載せたまま当製品を移動させないでください。
- ▲ ボルトのゆるみによるガタツキが出たときは、締め直してください。
- ▲ これ以外にも別紙の【安全上のご注意】をよくお読みください。
- ▲ 当製品を第三者に貸したり譲渡される場合は、本紙【組立説明書】と別紙【安全上のご注意】を必ず添付し、取扱い方法を十分に説明してください。
- ▲ 当製品は、誤った方法で組み立てをされたりご使用されますと、当製品や周辺環境(床や壁等)の破損、または思わぬ事故やケガの原因となることがございますので、誤った方法での組み立てやご使用は決してしないでください。

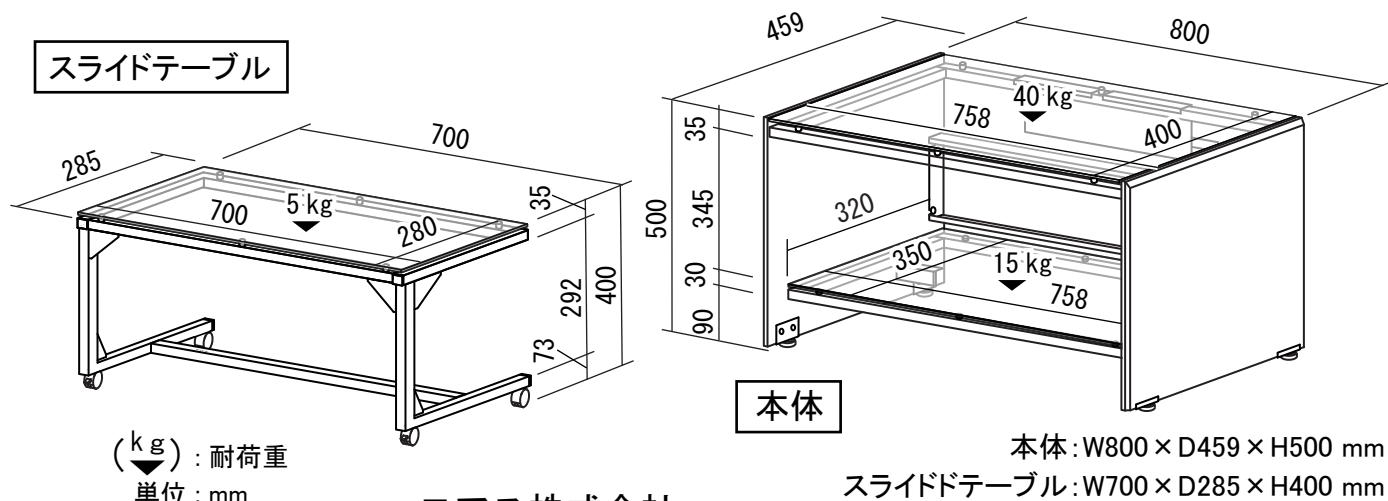
ロアス サポートセンター
TEL. 072-361-1830
受付時間：月～金曜日(祝・祭日は除きます)
9:00～17:00

これからも 末永くご愛用ください。
ありがとうございました。

ガラス板の取り扱い上のご注意

- ・直射日光又は、熱を避けてください。
- ・加熱したなべ、湯沸かし等を直接置かないでください。
- ・ガラス面やガラスエッジに集中荷重や衝撃を与えないでください。ガラスが割れることがあります。

完成図

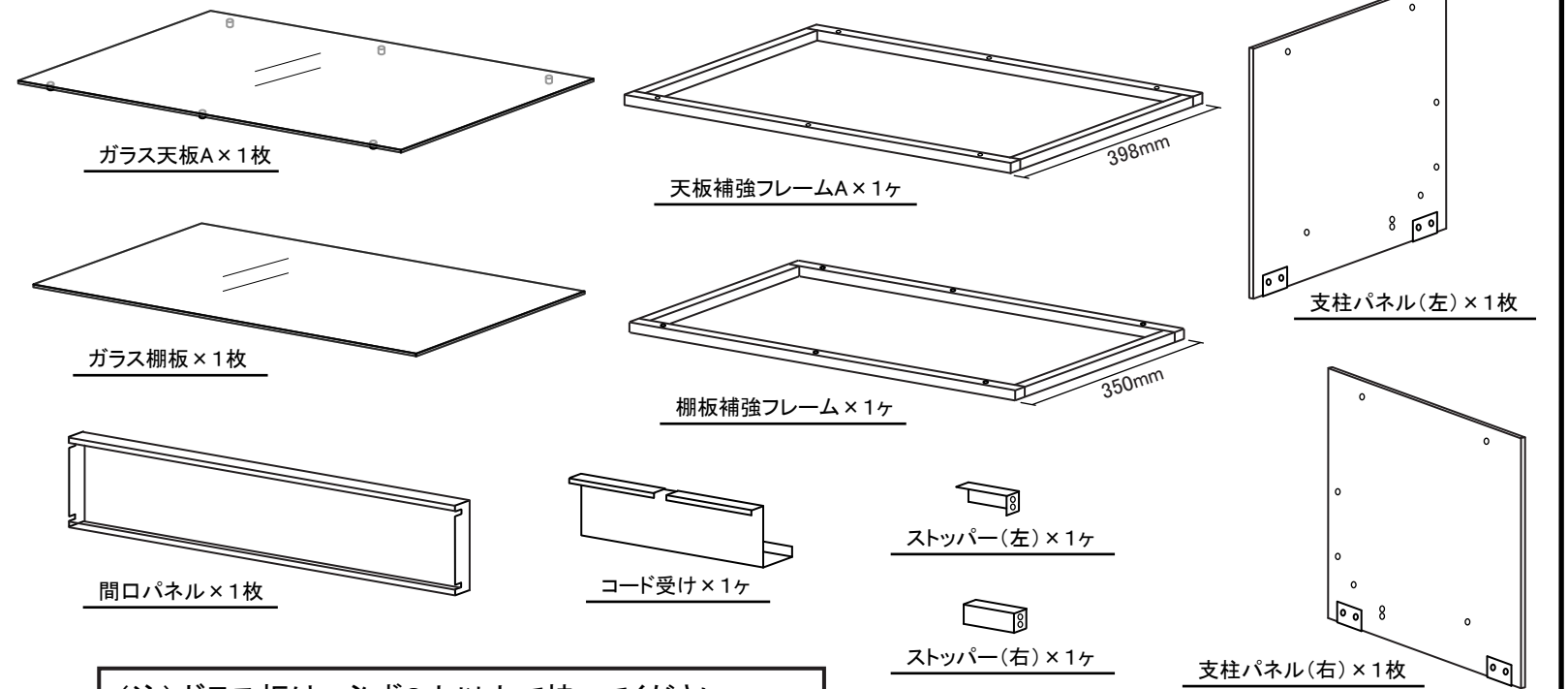


(kg) : 耐荷重
単位 : mm

ロアス株式会社

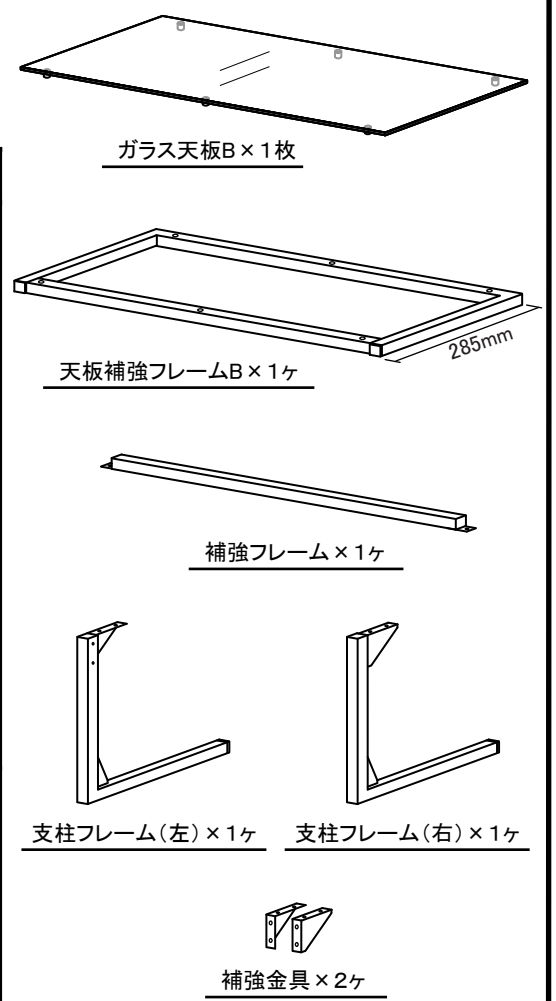
組立説明書番号 AFP101-AB0606 MADE IN CHINA

組立部品リスト



(注)ガラス板は、必ず2人以上で持ってください。
(注)ガラス棚板は、ガラス受けの上に乗せてください。
(注)ガラス面やガラスエッジに集中荷重や衝撃を与えないでください。

部品名称	形状	個数
ボルト(1) M6×30		8ヶ
ボルト(2) M6×25		12ヶ
ボルト(3) M6×12		20ヶ
アジャスター M8×25		4ヶ
ガラス受け		6ヶ
キャスター(ストッパー付) φ40、M8		2ヶ
キャスター(ストッパー無) φ40、M8		2ヶ
スパナ(対辺12.2mm)	(キャスターの袋に入っています。)	1ヶ



→ キャスターを取り付けます。

準備OKなら 組み立てを 始めてください。裏面に つづく

1

- 1) 支柱パネル(右)に天板補強フレームAをボルト(1)で**仮締め**します。
- 2) 支柱パネル(右)に棚板補強フレームをボルト(1)で**仮締め**します。
- 3) 支柱パネル(左)に天板補強フレームAをボルト(1)で**仮締め**します。
- 4) 支柱パネル(左)に棚板補強フレームをボルト(1)で**仮締め**します。
- 5) アジャスター(4ヶ)を取り付けます。

(注) 支柱パネルにキズが付かないように梱包材のエサフォームやパッド等を敷き、組立作業をしてください。

2

- 1) 図のように起こします。
- 2) ストッパー(右)をボルト(3)で締め付けます。
- 3) ストッパー(左)をボルト(3)で締め付けます。
- 4) ボルト(3)4ヶを支柱パネルに**仮締め**します。
注) 数回転だけねじ込みます。
- 5) 間口パネルをボルト(3)にはめ込みます。
注) 間口パネルがはめにくい場合、**1**で仮締めしたボルト(1)を少しゆるめてください。
- 6) **1** **2**で**仮締め**したボルトを全て締め付けます。

3

- 1) ガラス天板Aをボルト(2)で**仮締め**します。
- 2) 仮締めしたボルト(2)を締め付けます。
- 3) 棚板補強フレームの穴にガラス受け(6ヶ)をはめ込みます。
- 4) ガラス棚板をガラス受けに載せます。
- 5) コード受けを後ろからはめ込みます。

(注) ガラス棚板が棚板補強フレームからはみ出ないようにします。

(注) ガラス板は、必ず2人以上で持ってください。
(注) ガラス棚板は、ガラス受けの上に乗せてください。
(注) ガラス面やガラスエッジに集中荷重や衝撃を与えないでください。

4

- 1) 補強金具(2ヶ)をボルト(3)で**仮締め**します。
注) ボルト(3)の止め位置に注意してください。
- 2) ガラス天板Bに天板補強フレームBをボルト(2)で**仮締め**します。

5

- 1) 支柱フレーム(右)をボルト(3)で**仮締め**します。
- 2) 支柱フレーム(右)をボルト(3)で**仮締め**します。

6

- 1) 補強フレームをボルト(3)で**仮締め**します。
- 2) キャスター(ストッパー付)を前側に取り付けます。
- 3) キャスター(ストッパー無)を取り付けます。
注) キャスターは付属のスパナで確実に締め付けてください。 キャスター(ストッパー無)

4) **4** **5** **6**で仮締めした全てのボルトを締め付けます。